

第7回 市長と語ろう！ふれあいトーク(高岡らしい文化活動の創造)会議記録

- 1 日 時 平成 23 年 4 月 17 日（日） 午後 3 時 15 分から 4 時 15 分
- 2 場 所 市民会館 2 階会議室
- 3 出席者 ・高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」9 名
・劇団 P・O・D 2 名
・進化する森 クルー 3 名
・高岡市
市長、高岡市民文化振興事業団事務局長、生涯学習課長、
高岡市民文化振興事業団事務局事業課長、広報統計課長

4 会議次第

- (1) 市長挨拶
- (2) 各団体活動紹介
高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」
劇団 P・O・D
進化する森 クルー
- (3) 市の取り組みの紹介
- (4) 意見交換

.....

各団体の活動紹介

高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」

- ・ パープルは 2000 年から活動を行っている。当時は、県内に新しいホール等がたくさんでき、そちらに客が流れている状況だった。市民会館の稼働率が 5 割に満たない状況で、市民会館ににぎわいを、また、まちなか全体ににぎわいをという思いで活動を始めた。
- ・ かつては、会館の利用者に対して「使わせてやっている」という意識があったのではないかと思うが、「来てくださるお客さんのために自分たちで何ができるか」という考え方に变え、活動をまちなかの元気につなげようと考えている。
- ・ 現在会員は 60 名で、各自が楽器演奏などの特技を持っている。会のイベントにはこれまで 4 万人近くが参加している。

劇団 P・O・D

- ・ 劇団 P・O・D は、平成元年に若者が集まって結成された。現在団員は約 20 名で、年 2 回の公演を行っている。今年 2 月には第 36 回公演を開催し、7 月にも公演を行う予定である。
- ・ 現在、公演は生涯学習センターで行っている。生涯学習センターを使うことに対しては、駐車が不便であることから団員の中でも反対意見はあったが、実際に利

用してみると大変よいホールだと感じている。

- 私が学生の頃は、まちなかに人がたくさんいたと思うが、現在は人通りが少なく寂しい状態である。劇団の公演には 400 人以上は来ていただいております、市外からの観客も多くおられるので、まちなかに人が集まることに貢献しているものと思う。

進化する森 クルー

- 進化する森 クルーは、平成 22 年度に立ちあがったグループで、前身は「古城の森に響く新しい音楽会」である。ダンスとアートを 2 本柱とし、それぞれの専門家にも関わっていただいている。今年 1 月には、昨年度のメインの事業となる発表会を行った。
- 「古城公園が好き」「高岡が好き」という気持ちで皆さん集まってきている。進化する森 クルーの活動は来年度までとなるが、今後も高岡らしい文化になり得るような事業をしていきたい。

意見交換

出席者

- 市にとって、古城公園はどのような位置付けか。公園の中の車をどうするのか。現在は公園の中に車が入って来られるようになっているが、そのために起こるトラブルをよく見かける。
- 先日はパープルの活動を子どもたちに手伝ってもらったが、皆目を輝かせて一生懸命やってくれた。コンサートを鑑賞するマナーなどを子どもの頃から体験することは大変よいことだと思う。今後も子どもたちによるパープルの活動を意識的にやっていきたい。

出席者

- 公園に車を入れるか入れないかは、公園内にある施設をどうするかという問題に関わると思う。施設をどうしていくかという観点で車の出入りを考えなくてはならない。

市長

- 10 年先、20 年先になるかはわからないが、いずれ市民会館の建物については考えなければならない時期が来る。そのときには、建物だけを先に作るのではなく、何をするために何がどこにあればいいのか、そもそもこの場所でなければならぬのか、どういう文化が生まれるべきなのかを考えなければならない。

出席者

- 高岡の財産としての古城公園をどうしていくか考えてほしい。

市長

- 古城公園のあり方としては 2 つの考え方があると思う。ひとつは「できるだけあ

りのままの姿でいこう」という考え方、もうひとつは「歴史文化の中で市民が集うシンボリックなところとして、シビックホールなどの施設機能を残す」という考え方である。計画作りの延長線上では、前者の意見の方が多少ウェイトが高いのではないかと思っている。これまでは専門家の方の意見をお聞きしてきたが、それが市民のみなさんに受け入れていただけるかどうかだと思う。どのようなことをこの公園のスペースで行っていけばいいのか検証していきたい。

- 市民会館を「使わせてやる」という意識があったことは反省しなければならない。パプルの活動のおかげで考え方は変わってきたと思う。芸能人のコンサートをやれば客席が埋まることは間違いないが、ホールに関わる方々が何をしようとしているか、何を実現しようとしているかという考え方でないと、文化の価値創造はできないのではないか。

出席者

- ユーザーを意識しなければならない。市民会館はチケットを買うのに2階まで行かなければならないなど、不便な点がある。県内では、市民会館はオーバードホールに次いで大きいホールであるが、そのような意識がない。

市長

- ホールの規模、使い方の工夫、ホールの企画力など、市民会館と市民とを結びつける努力をしなければならない。また、全国ツアーのようなどこでも同じ内容のものではなく、できるだけ自主企画をして、高岡らしい手作り感のあるものを考えていかなければならない。

出席者

- 市内には優秀なアーティストがたくさんいるが、その音頭を取る人、プロデュースをする人がいない。

市長

- 企画段階でのご苦労はいろいろとあると思う。進化する森クルーのみなさんには、3年間の成果を期待している。また、それで終わりではなく、活動の中で良かった点・悪かった点を次のステップに活かし、プロデュースするノウハウを蓄積して発展していったほしい。

出席者

- 市内には公演するホールはあるが、それまでの練習場や準備する場所が不足している。富山市には市民芸術創造センターがあり、練習の場として利用されている。

出席者

- 市内には使われていない町工場など、協力してもらえば利用できる空間はいくらでもあるのではないか。

市長

- 地域的な練習の場としては公民館があり、熱心に活動していただいている。今後の課題ではあるが、練習に使うことのできる場所の情報を収集して、使いたい方

とマッチングさせるなど考えていく必要がある。

出席者

- パープルで開催するサロンコンサートの観客は、年配の方が 8 割である。お子さんを連れた方が来られても、お子さんが騒ぐと出て行ってしまい残念に思っている。今年 3 月には乳幼児も入ることのできるコンサートを開催したが、このような試みも子育て支援になるのではないか。小さい頃からコンサートなどに参加し、聴くマナーを学び、身につけて大人になることは大事なことだと思う。

出席者

- 今日は古城公園の中にたくさんの親子を見かけた。公園内に子どもはたくさんいるのに、市民会館に一人もいないというのは寂しい。

市長

- アーティストの中には、子どもたちの前での演奏を嫌う人もいれば、全く構わないという人もいる。これから子連れの人たちと一緒にみんなが楽しめるイベントというのは出来ていくと思う。
- 今年 2 月に御旅屋セリオの中に子育て支援センターをオープンさせた。多くの親子に利用していただいております、特に土日はお父さんたちが多く来ておられる。

出席者

- 子育て支援センターの駐車場に関する問題はないか。

市長

- 現在のところ、駐車場に関する苦情はないと聞いている。例えば、子育て支援センターと文化活動をタイアップできる可能性はあるのではないか。

出席者

- 古城公園は大変すばらしい公園だと思っている。この公園が残っているのは、明治時代に七尾県による高岡城跡の払い下げを阻止した服部嘉十郎の努力によるものである。この方の顕彰祭はいつ行われるのか。公園内に石碑もあるのに、一般に服部嘉十郎の功績はあまり知られていない。市としてもっと服部嘉十郎のことを伝えていくべきではないか。今後、PR やキャンペーン等努力してもらいたい。
- 公園内に遊覧船を運航させていることは大変すばらしい。今日は乗るまで 1 時間待ちだそうである。今後もぜひ続けてほしい。

市長

- 古城公園のお濠をめぐる遊覧船は、利長号・利常号の 2 台が運航している。せっかくの水濠公園なので、水面から見る古城公園の眺めも楽しんでもらいたい。みなさんの「よかった」という声をいただいて、続けていければと思っている。
- 何か新しいものをつくってこうという気風は文化活動から生まれると思う。物を育てる文化と活動を支援していきたい。いただいた意見を少しでも実現させるために、行政側に工夫が必要だと思われることは提案してほしい。